

や ま び こ

第 32 号 特定非営利活動法人プラサーザ大泉 令和 4 年 12 月 24 日

10月下旬頃から日本全国で新型コロナの新規感染者が再び増加傾向にあり、今年の冬には第8波流行の兆しがあると予測されました。

新型コロナのような飛沫感染するウイルスは、寒い季節に流行しやすいのです。屋内で過ごす機会が多くなり人との距離が接近し飛沫感染しやすい環境ができてしまうからです。

もう一つの理由はワクチン効果の減退とされています。この対策として、オミクロン株ワクチンによる予防接種が始まっていますが、その接種率が低いという状況とのことです。

私たちができることは何でしょうか？

マスク着用は臨機応変にとのことですが……。暫く、マスクは放せないですね。

利用者さんも、ニュースなどでご存じと思いますが、今年2月にロシアが隣り合っている国ウクライナにミサイルや戦車を使って攻め込みました。第二次世界大戦以来の大きな戦争になるかもしれない、世界の自由と平和の危機であると世界中の人々が憂えています。

日本もロシアから多くのエネルギー資源を輸入しています。石油や天然ガスが沢山とれるロシアからエネルギー資源が手に入らければ世界的に石油や天然ガスの値段が上がり、モノの値段や電気代も高騰します。すでにその兆候が現れて家庭の経済を圧迫し始めています。

ロシアとの間では北方領土をめぐる領土問題を抱えているのが我が国です。

ウクライナの人々に、平和な毎日が戻りますように。

寅年の一年がもうすぐ終わろうとしています。

保護者の皆様・利用者の皆様におかれましてはどのような年だったのでしょうか？

プラサーザ大泉の行事は、今年も控えめでした。

小規模に執り行いました交流親睦会ですが、全員参加で行ったバルバレーを思いのほか楽しめたのは保護者の皆様のようにお見受けしました。勿論利用者さんや、私たち職員もバルバレーの楽しさのとりこになってしまいました。みんなで一緒に楽しむことができるのは幸せです。次回は、もっと大きな声でそして、笑いあえたらよいですね。

「また、やりたい」と、声があがるのではないかと思います。

今日は、昨年に引き続き東海不動産さんがサンタクロースやトナカイさんとともに当事業所を訪れクリスマスプレゼントを頂きました。お忙しい中を有難うございました。

東海不動産さんにご縁を繋いでくださった沼津信用金庫支店長の大嶽さんも、東海不動産増渕社長・社員の方とお越しいただきました。

また、例年実施しておりました芋ほりに参加されプラサーザ大泉を応援してくださる尾藤さんご夫妻・いつもボランティアしてくださる八木さん・コロナ以前には仲間とボランティアをして下さった北村さん、すっかり顔なじみの方です。職員がお仕事でお世話になっております望月さん・職員の渡邊さんのご主人も参加していただき皆さんとビンゴゲーム・会食など楽しい時間を一緒にしました。みんなの思いは、みんな一緒がいい・楽しく過ごせることがいい・笑っていられたらいい・そして健康がいい。

世界で起きている戦争・貧困などなどを思うとこの幸せな日々を送らせていただいていることに感謝です。今年も良い年であったことを喜びましょう。

・以前、日本で3人目の全盲の弁護士である大胡田誠弁護士の話を書く機会がありました。支援についての話でした。私自身、元気をもらいましたので、その時の話を紹介します。結論を言うと、支援というのは、『相手の気持ちを奮い立たせて(相手を元気にさせて)、持っている力を引き出すこと』だということです。

・彼は、20歳から司法試験の勉強を始めて、2006年に29歳で合格するまで9年間がんばったそうです。その8年目、28歳の時に、勉強に息詰まったそうです。司法試験に受からない、受かるかどうかもわからない勉強に不安を感じて悩みました。

・「やめようか続けようか悩んでいる。」と母親に相談したところ、その時に、母親から言われた言葉があるそうです。普通は「あきらめて他の道を」とか「もっと頑張れ」とかでしょうが、言われた言葉は、「迷った時には自分の心が温かいと感じる方を選びなさい、進みなさい。」そう言われて、『誰かのために役に立つ生き方をしたい。心がホッとする方を選ぼう』と思い、踏ん切りがついて、それから1年後の9年目、29歳で合格したそうです。親は肉親の情というか、独特の感情を持ってしまうので、適切な支援がむずかしいと思うのですが、迷っている相手に力を与える支援だったと聞いていて思いました。

・さらに、大胡田弁護士は次のことを言いました。「あきらめなければ夢は必ず叶う」「もう駄目だと思った時は、夢が一番近づいていた時である。夢をあきらめようとした瞬間、一番夢に近づく。自分も乗り越えられたから弁護士になれた。そうしたら、人の役に立つ仕事に携わることができている。」

・支援によって、やる気が出てそのやる気によって夢が実現するのだと思います。悩みや迷いがあるって困ったいたりまどっている人がいたら、支援のきっかけとなりますので、笑顔で声をかけてみましょう。

北村光広様(プラサーザ大泉理事です。)

利用者さんの部屋

利用者自治会長・伊藤圭介さん

大泉の一日

朝いつもの時間に送迎バスが来て大泉の一日が始まります。8時半過ぎに到着し「おはようございます！」と元気な声で入って行く。手の消毒をし、タイムカードを押して、検温表を出して、手洗いし、エプロンとカブレードルをして準備完了。8時50分になると朝礼です。当番は前に出て、ラジオ体操、山本所長の挨拶と筋力体操、仕事の確認、最後に当番が「今日も一日頑張るぞ!!」と掛け声で気合いを入れる、9時から仕事開始。

10時半から10分間休憩。12時になると一旦片付けて昼食の時間です。当番の「いただきます」で食べ始めます。この時に皆さんからのお土産やいただき物が配られます。食べ終わると昼休み自由時間です。テレビを見る人、絵を描く人、お話をする人みんなそれぞれです。でも月曜日は自治会の話し合いをやっています。行事の事や色んなお知らせをしたり、約束事を決めたり、みんなの意見を聞いています。(もう少し色々な意見が出るといいなあ)

12時50分になると当番の班が机を拭いてくれます。55分には仕事の体制になっています。テレビがついていると「55分だから消して」と言ってくれる人もいます。午後も仕事開始。週に1回はボランティアの八木さんがお手伝いに来てくれます。助かります。感謝しましょう。14時に水分補給をしてあと少し頑張ります。

最近の仕事の方は、箱折りはコロナの行動制限がなくなった為か、三協紙器さんからも牧野製袋さんからも様々な箱が来てほぼ毎日納品があります。オオクラパックスさんからも100円ショップ用や信用金庫の粗品用などのごみ袋の仕事が来ています。納期は必ず守り、それ以上の事をやろうと努力しています。だから毎日忙しいです。

15時に片付け、帰る支度をして終礼をして送迎バスで帰宅します。忙しい一日が終わります。ご苦労様でした。
(利用者さん、どなたか次回の原稿寄せてくださいね。)

宮澤さん 勤続20周年おめでとう！！

例年、天城ドームで行われる表彰式ですが2年間に亘り形式の変わった形で開催されてきました。今年度は、役員さんのお考えで表彰状とプレゼントが送られ、「各事業所で表彰式を実施して下さい。」その様子をお知らせくださいとのことでした。利用者さんたちから「おめでとう」と、お祝いの言葉を頂きました。皆さんも20年、30年と続きましょう。



12月8日（木）に、障害者週間事業の一環として、大泉で販売していますごみ袋を市役所内のパイン店、沼津駅南口「福祉の店・とも」、沼津駅南口、沼津駅北口にて。利用者5名参加 お天気も良く、道行く人に配布いたしました。「いつもお世話になっております。」と、心を込めて。



高橋和宏さん有難う

WCの脇の10cm四方ほどの板が外れていました。両面テープで張って直してくれました。

以前から剥がれていることに気づき、気になっていたようです。

気づきの大切さ？ゴミが落ちていたら拾う気持ち・テーブルが汚れていたら拭くという気持ち・仲間が困っていたら助けてあげるやさしい気持ちに似ていると思います。

気づくことの大切さを、和弘さんに教わりました。

令和5年1月～2月予定

1月4日(水) 新年会(10:00-12:00)→おせち料理
水筒持参

仕事始め(13:00-15:00)

1時間遅れて、迎えに行きます

帰りは、15:00出発(通常通り)

1月5日(木) 通常日課

1月11日(水) 鏡開き(お汁粉)

1月16日(金) 防災訓練(予告なし)

2月3日(水) 節分会(豆まき)

2月24日(金) 自治会選挙

3月吉日(?) 年度末手当

皆勤賞表彰(誰の手に)

「1年の計は元旦にあり」

休み中もうがい・手洗いの励行を忘れずに！！

お仕事の時には、きれいなエプロン、カブレール(バンダナ)の装着をお願いいたします。

常に、ハンケチ・ティッシュ・絆創膏・マスクを持参して下さい。

絆創膏やマスクの予備の用意を忘れずに。

毎日持参する物は最小限にしましょう。

来年はよろしくお願ひ申し上げます！！



良いお年をお迎えください。

(文責：長澤)